

さて、今度は英文を書く時の**時間表現のルール**、時制について学習します。ただし時制は時間と同じものではありません。時間は客観的なものですが、時制は主観的なもの、時間の感じ方です。

1. 現在時制と現在進行形

- ① She *writes* novels. 「彼女は（いつも）小説を書きます。」‘現在時制’
 ② She *is writing* a novel. 「彼女は今小説を書いています。」‘現在進行形’

現在時制は「いつも繰り返してすること」を表しますから、「変わらないこと」すなわち「習慣・職業・性質・一般的事実」を表します。‘現在’時制という呼び名でも、決して現在時だけを表すものではありません。現在時制は**現在時を中心として過去時も未来時も含む長い時間帯**について述べるのです。これがポイントです。たとえば He *smokes*. と書けば、この人は今までもタバコを吸い、これからもタバコを吸う人です。Typhoons *visit* Japan in summer and autumn. と書けば、13世紀の文永・弘安の役でフビライの艦隊を海の藻屑にした台風のことも含みますし、さらに来年以降もこの国を何度も襲うであろう台風のことも含みます。この観点から上の例文①を解釈すれば「彼女は小説家である」ということが推測できるのです。

これに反して**現在進行形**は「まさに現時点でしていること」だけを表します。He *is smoking*. と書けば、今、この人が目の前でタバコを吸っていることを意味します。この人が過去においてタバコを吸ったかどうか、来年も吸うかどうかは何もわかりません。ですから上の例文②では「彼女が小説家である」とまでは推測できないのです。現在時制は「時間の線分」、現在進行形は「時間の1点」を指すのです。

例題

次の日本語の意味を英語で書いてみよう。
 「弟が使用中ですので車は今ここにはありません。」

解答欄

解説

「車」は任意の車ではなく、相手に求められている特定の車ですから定冠詞が必須です (⇒ the car)。「ありません」では There is ~ / Here is ~ の構文は使えません。これらの構文は「不特定の物」に用いるのが原則です。「弟が使用中」は「弟がそれを使っている最中です」と考えて現在進行形で表します。

解答例

The car isn't here now because my brother is using it.

2. 過去時制と過去進行形

- | | | |
|---|-----------------------------|-----------------|
| ① She <i>waited</i> for the school bus. | 「彼女はスクールバスを 待った 。」 | ‘過去時制’ |
| ② She <i>was waiting</i> for the school bus. | 「彼女はスクールバスを 待っていた 。」 | ‘過去進行形’ |
| ③ He <i>was sleeping</i> when she <i>came</i> home. | 「彼女が帰宅した時彼は 眠っていた 。」 | ‘過去時制と過去進行形の対比’ |

過去時制は「始まったことが終わったこと」すなわち「過去における終了」を意味します。他方、過去進行形は「始まったことがまだ継続中であったこと」すなわち「過去における未終了」を意味します。ですから③の例文のように1つの文に過去と過去進行形が同時に現れると、両者の特徴が対比され「…した時にはまさに…している最中だった」ということを示します。

例題

空所の中の動詞を適切な時制に変えてみよう。

- (1) I (learn) the news from the radio an hour ago.
 (2) It (rain) when I got up this morning.

解答欄

- (1) () (2) ()

解説

- (1)「1時間前にラジオでそのニュースを知った。」明瞭な過去の副詞 ago に注目しましょう。
 (2)「今朝起床した時には雨が降っていた。」過去と過去進行形の対比で表すのが自然。

解答

- (1) learned (2) was raining

3. 過去時制と現在完了

- | | | |
|---|-------------------------------|--------|
| ① He <i>went</i> to England to study gardening. | 「彼は園芸を研究するため英国へ 行った 。」 | ‘過去時制’ |
| ② He <i>has gone</i> to England to study gardening. | 「彼は園芸を研究しに英国へ 行っている 。」 | ‘現在完了’ |

過去時制が「過去に終了したことを表す以上、過去時制は現在時とは無関係です。①がこれです。ところが、現在完了は「過去のことを現在から見る」視点です。ですから②も「過去に英国へ行った」という点では同じですが、「今なお英国で研究している」と現在時を同時に表す点が違います。

以下が**現在完了の主な用法**になります。確認しておきましょう。

‘完了’ 「もう部屋の掃除はしてしまった。」 *I have already cleaned my room.* (完了し結果が残っている)
 ‘経験’ 「この小説は読んだことがある。」 *I have read this novel before.* (過去の経験が今も残っている)
 ‘継続’ 「ここに3年間住んでいます。」 *I have lived here for three years.* (過去から今まで継続)
 ※ ‘完了’ には *already, not ... yet, just* などを, ‘経験’ には *ever, never, before* などの副詞を,
 ‘継続’ には *for ~ years, since ~* などを付けるのが普通です。

現在完了は「現在時を含む」ため、これと論理的に矛盾する *yesterday, last Sunday, a few weeks ago* のような過去時を明確に示す副詞（句）は一緒に使えません。

4. 過去完了と過去時制

I knew the story, for *I had heard* of it before. 「私はその話を知っていた。というのは前に耳にしたことがあったから。」

日本の学生は過去完了を使いたがる傾向があります。正しく使える環境は1つです。それは同一の文の中にすでに過去時制の動詞があるなどして過去の基準時が明示されている場合です。その基準時より以前に起こったことを示すのに過去完了を用いるのです。上の例文では「知っていた」が過去の基準時であり、「それ以前に聞いていた」が過去完了です。ですから次の例のように時間の経過に沿って叙述が進行する通常の場合には、過去完了を使いません。事柄はすべて起きた順序に従って過去時制を並べていけばいいのです。

Ex. Jimmy was four years old. Every day after lunch his mother took him into his bedroom and put him on his bed to rest for an hour, but Jimmy never slept and he usually made a lot of noise and got off his bed every few minutes. (ジミーは4歳だった。毎日、昼食後、母親は彼を寝室へ連れて行き、1時間休ませようとベッドに寝かせたが、ジミーは決して寝付かず、たいいていは騒いで、数分ごとにベッドから出たのだった。)

例題

[A] 空所の中の動詞を適切な時制に変えてみよう。

- (1) Isaac Newton (be born) in 1642 and (die) in 1727.
- (2) When John got to school, the lesson (start) already.

[B] 次の日本語を英訳してみよう。

「戸口 (the door) まで歩いていくと呼び鈴 (the bell) はぴたりと止んだ。」

解答欄

- [A] (1) () ()
- (2) () ()
- [B]

解説

[A] (1)「アイザック・ニュートンは 1642 年に生まれ、1727 年に亡くなった。」過去の出来事を時間に沿って叙述しているので過去時制を並べればいいのです。(2)「ジョンが学校へ着いた時には、授業はすでに始まっていた。」already がポイント。過去時制と過去完了を対比させます。

[B]「歩いていった」も「(鳴り) 止んだ」も過去時に終了した動作であり、起きた順序に従って叙述されていますから、過去時制を選びます。「ぴたりと」は難しそうですが、意味を解釈すれば「突然に」となります。「(鳴り) 止む」は「鳴ることを止める」と考えます。堅い表現になりますが、ceased to ring と書けます。

解答

[A] (1) was born ; died (2) had started

[B] When I walked to the door, the bell suddenly stopped.

5. 未来時制

みなさんは中学校時代に、英語の未来時制には‘will + 動詞の原形’と‘be going to 不定詞’の2つの形があり、意味が同じであると聞いたかもしれません。そして、この2形式の書き換えのドリルをしたかもしれません。これは中学生が覚えやすいように簡略化してくださったものです。そこで、今回はもう一歩進めて、英作文に生かせる実用的な未来時の表し方を学びたいと思います。

もうお気づきでしょうが、英語には「未来時を示す形」がいくつもあります。He *will* come. / He *is going to* come. / He *is coming*. / He *is to* come. など。そこで、これらの**未来時を示す各種表現**を整理し、その**意味の違い**を確かめたいと思います。みなさんが英作文で未来時に言及する時には、この中から最も適切だと思うものを選択して使ってください。

- ① ‘will + 原形’ 「…するだろう」推測【単純未来】 ※確率の高い推測を示します。

It *will* [It’ll] begin to rain in the afternoon. 「午後は雨になるでしょう。」

I *will* [I’ll] be seventeen tomorrow. 「明日で満 17 歳になります。」

- ② ‘will + 原形’ 「…しよう；…するつもりである」現時点の決断【意志未来】

I *will* [I’ll] support George. 「ジョージを支持しよう。」 = I have decided to support George.

Will you come to the party? 「パーティに来てくれますか。」相手の決断を問う言い方。

- ③ ‘be going to 不定詞’ 「…することになっている」決断+確定 ※②より進んだ段階です。

I *am going to* [I’m going to] support George. 「ジョージを支持することにしています。」

What *are* you *going to* be when you grow up? 「大きくなったら何になるつもりでいますか。」

- ④ 現在進行形 「…する予定でいる」個人の予定として確定し準備中

I *am* [I’m] *leaving* for Morioka on Saturday. 「土曜日に盛岡へ出発の予定でいます。」

- ⑤ ‘be going to 不定詞’ 「今にも…しそうだ」確実な予測

It’s *going to* rain before evening. 「夕方までに雨になる。」

- ⑥ ‘be + to 不定詞’ 公式の予定

The conference *is to* take place in Kyoto next week. 「会議は来週京都で開催されます。」

- ⑦ 現在時制 「…する予定」確定した予定

※ go, come, arrive, start など往來発着の動詞 + 未来時を示す副詞。

I understand that Marcia *returns tomorrow*. 「マーシャは明日帰ると承知しています。」

The last Shinkansen *leaves* Tokyo for Osaka at 9:18. 「東京発大阪行きの新幹線の最終は9時18分発です。」

Point

‘時・条件’を表す副詞節の中では、未来のことを表すのに現在時制が使われます。If (When ; Until ; As soon as ; Before ; By the time) S +現在時制, S + V

Ex. If you miss the train, you'll have to stay at the nearest hotel. (もしその列車に遅れたら、最寄のホテルに泊まらねばならないでしょう。)

column 間違えやすい表現 1

(1) 「～が増える」

例えば「テレビが増えた」を Television has increased. としてしまう人が多いでしょう。意地悪なネイティブなら「テレビが膨れ上がったのですか」と聞き返すかもしれません。問題は「何が増えたか」を特定していないという点です。西洋の論理で言えば、数も量も高さも正確さも温度も容積もみな増える可能性があるのです。上の例では「数が」という限定が必要になります（正しくは Television has increased in number.）。次のうち、④の書き方がおすすめです。

《正しい書き方》

「韓国語を習う若者が増えている。」

- ① The number of young people who learn Korean is increasing.
- ② Young people who learn Korean are increasing in number.
- ③ An increasing number of young people are learning Korean.
- ④ More and more young people are learning Korean.

(2) 「近頃；最近」

recently を使う学生が圧倒的に多いのですが、注意したいのは「過去・現在完了時制で使う」ということです。日本語では「近頃」を広く使うことができますが、英語では時制との相性を考える必要があります。

《正しい書き方》

- ① (○) She bought a car recently. [過去時制] 「最近車を買いました」
- ② (○) She has recently bought a car. [現在完了] 「最近車を買いました」
- ③ (×) She is jogging recently. [現在進行形] 「最近ジョギングをしています」
 ⇒ (○) She is jogging these days. ※ these days は現在進行形・現在時制の文で使います。
- ④ (×) She is rarely late for school recently. [現在時制] 「最近めったに遅刻しません」
 ⇒ (○) She is rarely late for school these days.